

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学実習Ⅱ		実習	小田 佳子・中田 修・石橋 保子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
作業療法では脳血管障害や頭部外傷など中枢神経の損傷による機能障害を呈する患者に対応することが多い。そこでこの授業では、中枢神経を「大脳」「基底核～小脳」「脊髄」の3グループに分かれて模型や図表を使いながらそれぞれの「構造」と「機能」を理解し、実際の中枢神経系疾患患者に対する作業療法を遂行する上での基礎知識の習得を目指す。				
授業の到達目標				
1. 大脳の構造を説明できる		5. 基底核～小脳の機能を説明できる		
2. 大脳の機能を説明できる		6. 脊髄の機能解剖が説明できる		
3. 脳の血液や脳脊髄液を模式図を書いて説明できる		7. 自律神経の仕組みと働きが説明できる		
4. 基底核～小脳の構造を説明できる		8. 脳幹の機能解剖及び脳神経の働きと経路が説明できる		
授業計画				
回	内容			
1	中田担当：大脳（1）大脳の基本構造			
2	中田担当：大脳（2）脳葉			
3	中田担当：大脳（3）大脳の機能局在			
4	中田担当：大脳（4）脳の血液循環			
5	中田担当：大脳（5）脳膜と脳室			
6	小田担当：基底核～小脳（1）大脳辺縁系			
7	小田担当：基底核～小脳（2）大脳基底核			
8	小田担当：基底核～小脳（3）間脳			
9	小田担当：基底核～小脳（4）小脳			
10	小田担当：基底核～小脳（5）伝導路			
11	石橋担当：脊髄			
12	石橋担当：屈曲反射・伸長反射、自律神経			
13	石橋担当：脊髄を通る伝導路			
14	石橋担当：脳幹			
15	石橋担当：脳神経、中枢神経と末梢神経の違い			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	授業の理解度を評価する。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学第4版	野村 巖 編		医学書院	
分冊解剖学アトラスⅢ神経系と感覚器 第6版	平田幸男 訳		文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
3グループに分かれて各分野をローテーションしながら受講する				